

2019年5月27日  
株式会社日本政策金融公庫

## 日本公庫の民間金融機関との協調融資実績 ～2018年度は前年度比約3割増の3万件超～

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）は、民間金融機関の補完を旨とし、創業や事業再生、農林漁業などの成長戦略分野を中心に協調融資<sup>（注）</sup>を行っています。

2018年度の協調融資実績は30,768件（前年度比133%）、12,929億円（同172%）と前年を大きく上回りました。（表1）

（注）同一目的の資金計画に対し、日本公庫と民間金融機関が協議を経たうえで、両者が融資（保証）を実行または決定したもの（公庫で集計したもの。両者の融資実行・決定時期が異なる場合も含む。）。

民間金融機関とより一層連携を進めるため、協調融資のほか、以下の取組みを推進しています。

### ①日本公庫から民間金融機関へのお客さま紹介

日本公庫は、多様化するお客さまの資金ニーズに対応するとともに、お客さまの資金調達の選択肢を増やすことなどを目的に、日本公庫から民間金融機関へお客さまを紹介する取組みを実施しています。

2018年度の公庫から民間金融機関へのお客さま紹介は9,801件となりました。

### ②民間金融機関から日本公庫へのお客さま紹介

日本公庫は、より多くの事業者へ安定した資金供給を実施するため、民間金融機関からのお客さま紹介に積極的に対応しています。

2018年度の民間金融機関からのお客さま紹介は34,197件となり、その中には、協調融資としたもののほか、創業分野や農林漁業分野などにおいて、日本公庫が単独で融資したものが17,833件あります。

### ③協調融資商品の創設実績

2019年3月末時点で、266機関と366の協調融資商品が創設されています。2018年度は、創業や事業再生、事業承継、農業、ソーシャルビジネスなどのさまざまな分野において、全国各地のさまざまな業態の民間金融機関と協調融資商品を創設しました。（表2）

表1 業態別 協調融資実績 (2018年4月～2019年3月)

(単位: 件・億円・%)

	都市銀行	地方銀行	第二地方銀行	信用金庫	信用組合	その他	合計 <sup>(注)</sup>	
							対前年比	
件数	2,177	9,470	4,083	12,608	2,112	818	30,768	133
金額	2,656	5,674	1,572	2,716	329	835	12,929	172

(注) 複数の民間金融機関と協調融資を行っている場合、内訳として表示している件数金額についてそれぞれの金融機関ごとに計上しているため、合計とは一致しない。

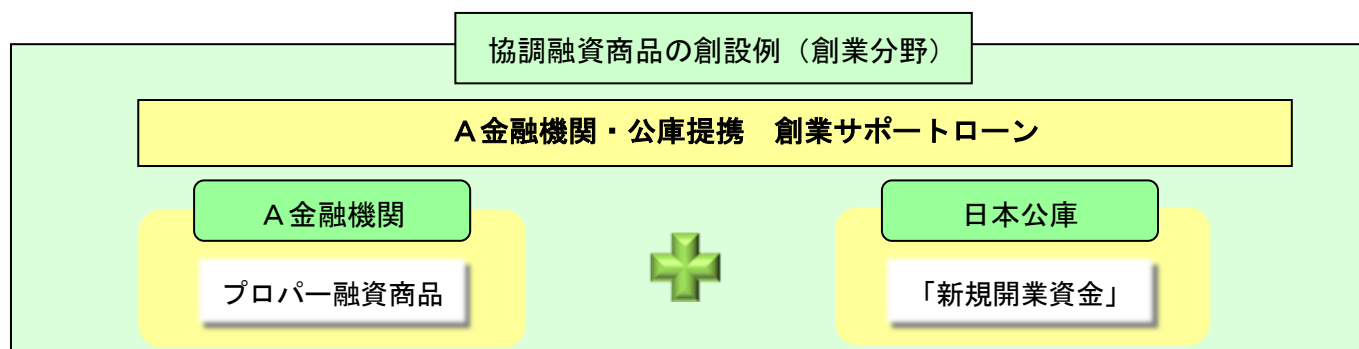
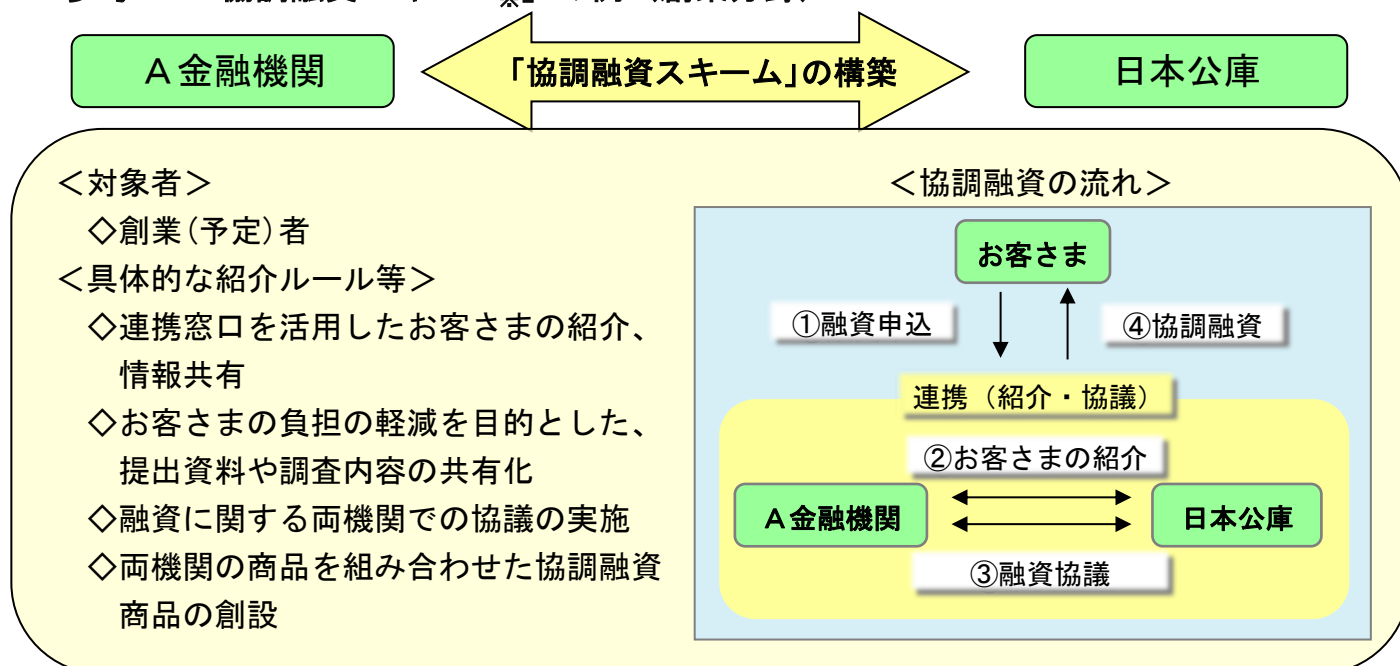
(例) 1億円の決定案件について、地銀・第二地銀と協調した場合、地銀・第二地銀それぞれに1億円を計上。合計には1億円と計上。

表2 協調融資商品の創設実績 (2019年3月末時点)

	都市銀行	地方銀行	第二地方銀行	信用金庫	信用組合	その他	合計 <sup>(注)</sup>
協調融資商品創設機関数	-	32	28	149	52	5	266
協調融資商品数 <sup>(注)</sup>	-	43	40	213	68	5	366

(注) 複数の機関が共同で創設している協調融資商品があるため、商品数の合計値は業態ごとの商品数合計とは一致しない。

参考1. 「協調融資スキーム<sup>※</sup>」の例 (創業分野)



※「協調融資スキーム」について

協調融資として取り扱う案件の具体的な紹介ルールの取り決めがなされているもので、中にはそれぞれの機関の融資制度を組み合わせることで協調融資商品の創設まで至っているものもあります。

## 参考2. 協調融資の事例

企業名	三陸ブルーイング・カンパニー合同会社	所在地	岩手県	業種	クラフトビール製造・販売
連携金融機関	気仙沼信用金庫	日本公庫の連携分野	創業期		
取組みの概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>三陸ブルーイング・カンパニー合同会社の代表者は、東日本大震災の際にボランティア支援で三陸を訪れたことをきっかけに、復興が進んでいく三陸の姿を伝承するため創業を決意し、平成30年6月に同社を設立。</li> <li>同社は、柑橘類をはじめ、三陸沿岸の素材を副原料に使用したクラフトビール「三陸ビール」を開発しており、三陸地域で愛されるブランドとなり、全国、やがては世界に三陸の魅力を発信することで、地域への貢献を目指している。</li> <li>日本公庫は、同社から「三陸ビール」の本格的な販売計画の相談を受けるなかで、数年後には自社醸造を目的とした大規模設備投資の可能性があることを把握。創業時点から民間金融機関と取引し、継続的なフォローアップを受けた方がよいと判断し、公庫単独融資ではなく、気仙沼信用金庫との協調融資を提案した。</li> <li>気仙沼信用金庫と日本公庫は、同社の技術力やイベントなどにおける製品の評判を評価。地域活性化に資する事業開始のために必要な資金として、平成30年4月に創設した創業者向けの協調融資商品「YELL エール」を適用し、協調融資を実行した。</li> </ul>				

企業名	株式会社佐藤食肉	所在地	新潟県	業種	食肉卸売業・食肉加工業
連携金融機関	北越銀行	日本公庫の連携分野	地域活性化		
取組みの概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社佐藤食肉は、昭和28年創業の食肉卸・加工業者。豚肉を中心に、牛肉、鳥肉の食肉加工から惣菜の製造まで一貫して手掛けている。</li> <li>同社は、近年の顧客ニーズの増加に応えるため、新工場の建設による生産能力の増強を計画。敷地内には平成30年にコンピューター管理の自動立体冷蔵庫を建設しており、併せて品質管理の徹底を図る。</li> <li>さらに、同計画は、新潟県産の食材を使用したメンチカツ、ハンバーグ、カレーソース等の商品開発を通じて、地元食材の消費拡大に貢献するものであり、地域活性化に資する点などが評価され、「地域経済牽引事業」に認定された。</li> <li>新工場建設の資金調達について相談を受けた北越銀行と日本公庫は、今次計画を地域経済の活性化に資する取組みとして評価し、情報共有等の連携を図りながら協調融資にて支援を行った。</li> <li>北越銀行と日本公庫は、平成26年に創業支援、農商工連携など、きめ細やかなサポートをお客さまに提供することを目的に「業務連携・協力に関する覚書」を締結しており、地域活性化の促進に取り組んでいる。</li> </ul>				

企業名	有限会社アグリ:サポート	所在地	愛知県	業種	農業(稲作、野菜)
連携金融機関	名古屋銀行	日本公庫の連携分野	農林漁業		
取組みの概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>有限会社アグリ:サポートは、愛知県飛島村で米と野菜の栽培に取り組む農業法人。平成10年の法人設立以降、経営規模の拡大を進めるとともに減化学肥料・減農薬栽培などの環境保全型農業に取り組み、愛知県から「エコファーマー」として認定されている。</li> <li>また、同社は野菜の冷凍加工などの6次産業化にも取り組んでおり、生産した野菜を自社施設でカット・瞬間冷凍することで、安定した価格で年間を通して出荷することができる。さらに、生産から加工、販売までを一貫して行っているため、販売先に生産・製造履歴を開示できることが強み。</li> <li>同社は、更なる経営規模の拡大や生産性の向上を目指して設備投資を計画し、資金調達について名古屋銀行及び日本公庫に相談。</li> <li>相談を受けた名古屋銀行と日本公庫は、同社の強みや地域経済への貢献度などを評価し、情報共有などの連携を図りながら協調融資にて支援を行った。</li> <li>名古屋銀行は農業を成長分野の一つと位置づけており、日本公庫などの金融機関と『あいち・じもと農林漁業成長応援「食」と「農」の大商談会』を共催するなど、日本公庫と連携して地域農業の活性化に取り組んでいる。</li> </ul>				